

「産業EMS」から「K-DXソリューション」への名称変更および提供範囲の拡大 ～デジタル技術とデータ分析でビジネスの効率化をサポート～

2023年6月15日
関西電力株式会社

当社は、デジタル技術（AI、BI^{※1}、IoT）を活用し、法人のお客さまの課題解決をご支援するソリューション「産業エネルギーマネジメントサービス（以下、産業EMS）」を「K-DXソリューション（以下、本ソリューション）」へ名称変更します。併せて、スーパーマーケット等の業務分野のお客さまからのご要望に応じて、工場等の産業分野のお客さまのみでなく、業務分野のお客さまへの提供を開始しますので、本日お知らせします。

当社は、2021年8月から産業分野のお客さまを対象に産業EMSの提供を開始し、歩留まり改善^{※2}や省エネ・省CO2施策の立案といったお客さまの課題に対して、AI・BIを活用したデータ分析によるコンサルティングを実施してまいりました。また、お客さまが従来から保有されている様々なデータ^{※3}に加え、当社が設置するIoTセンサーによって取得する設備稼働データも分析することにより、お客さまの課題解決をご支援してきました。

名称変更に伴って、本ソリューションの提供範囲を拡大し、業務分野のお客さまの省エネ・省CO2施策の立案や販売促進施策の改善などの様々なニーズにもお応えしてまいります。

当社は、引き続き、エネルギーだけでなくお客さまのご要望に応じた様々なソリューションを提供し、お客さまの身近なパートナーとしてお客さまの生産性向上やゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

以 上

※1 Business Intelligence の略。企業内にある様々なデータを収集・分析し、企業の意思決定に役立つ形でアウトプットする仕組みや手法

※2 投入した原料に対する完成品の割合の改善

※3 生産量データ、製品不良データ、作業実績データ、機器・設備の故障履歴など

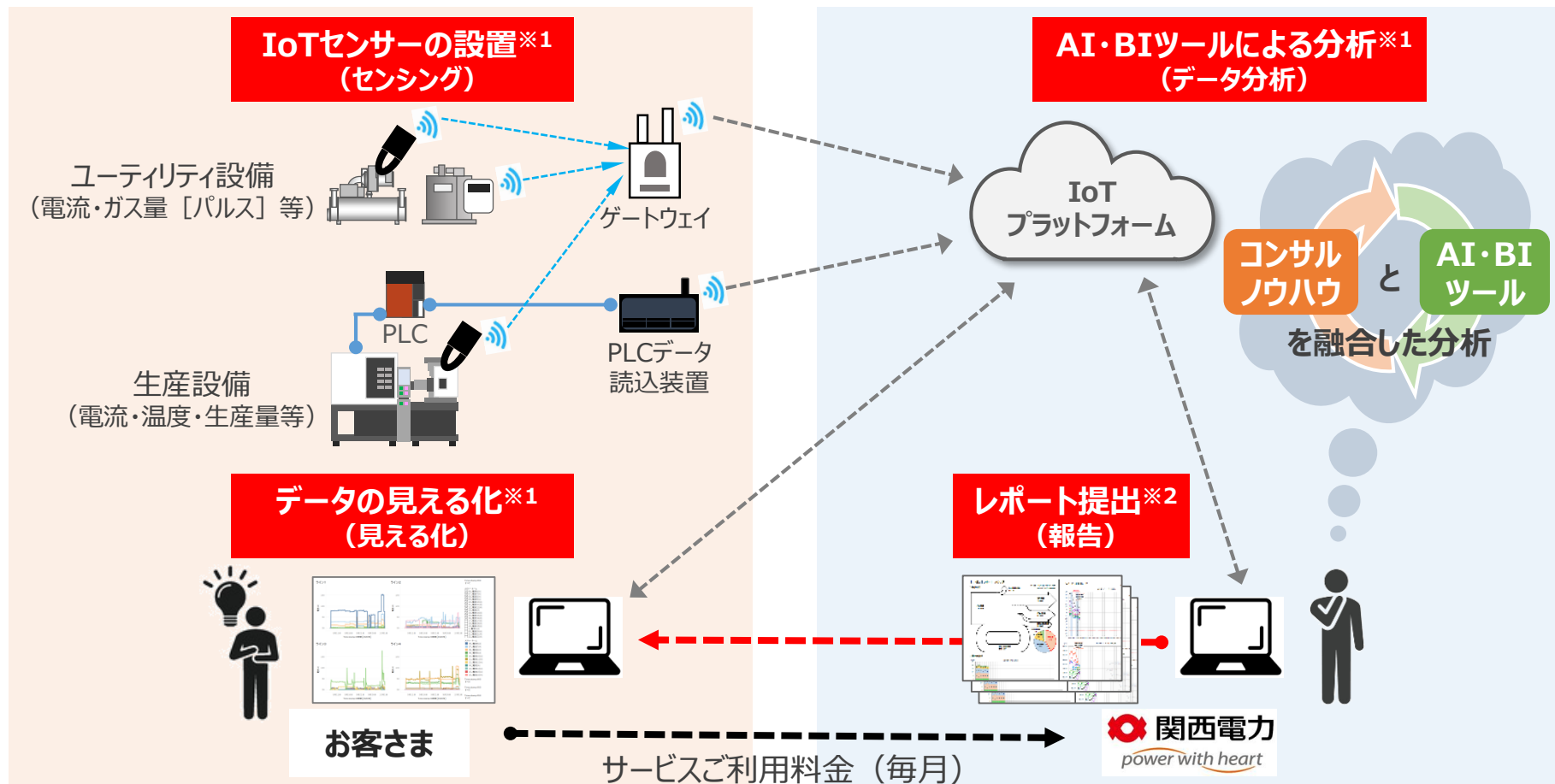
添付資料：K-DXソリューションの概要

本ソリューションに関するWebサイト・お問い合わせ先
https://sol.kepco.jp/industrial_ems/

お客さまの課題解決に向けた 「K-DXソリューション」の概要について

2023年6月15日
関西電力株式会社

K-DXソリューションは、お客さまが抱える「エネルギー領域（省エネなど）」「非エネルギー領域（歩留まり改善など）」の課題に対して、関西電力がAI・BI・IoTなどのデジタル技術を活用し、課題解決に向けてサポートするサービスです。

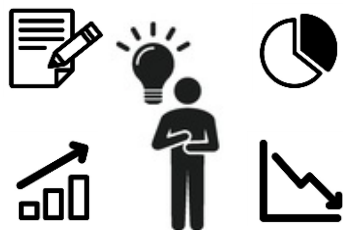


※1 次ページ記載のプランに応じて、サービス内容が変わります

※2 お客さまのご要望に応じて、報告回数・形式を決定します

それぞれのお客さまが抱える課題解決をサポートできるよう、様々なプランをご用意しています。

データ分析プラン



データ分析

見える化

センシング

お客さまがお持ちのデータ※を受領し、データに基づく分析結果を報告します。

データ分析継続プラン



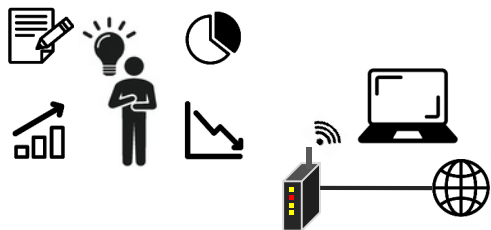
データ分析

見える化

センシング

お客さまがお持ちのデータ※を定期的に受領し、データの分析・見える化を実施します。

データ分析センシングプラン



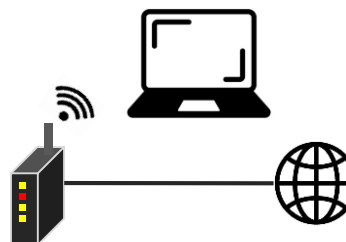
データ分析

見える化

センシング

IoTセンサーによりセンシングを行い、お客さまがお持ちのデータ※と組み合わせて、分析結果を報告します。

センシングプラン



データ分析

見える化

センシング

IoTセンサーでセンシングし、見える化します。

※ 生産量データ、製品不良データ、作業実績データ、機器・設備の故障履歴、PoSデータ等

関西電力は、以下のようなお客さまの課題解決をサポートします。

【生産・設備管理】

- 生産ラインの不良率を改善したい。
- 設備の稼働率を上げたい。
- 熟練者のノウハウの体系化に取り組みたい。

【エネルギー・環境管理】

- エネルギー使用状況を見える化したい。
- 省エネ・省CO₂目標を達成したい。
- 商品にかかわるCO₂排出量の定量化を検討したい。



【経営管理・総務】

- 販売促進施策を効率化・高度化したい。
- 商品管理を適正化したい。

【全般】

- データ管理やデータまとめの業務を効率化したい。
- データ分析業務を安価にアウトソーシングしたい。